

複合施設の新名称が決定！

日野町を『照らす』存在に！

# 「かもち 金持テラスひの」

「金持」は年間20万人の観光客が訪れる金持神社の集客力を生かしたにぎわいつくりをしたいという思いが込められています。「テラス」には一般的に建物の外部で一段高くなったスペースのことですが、多くの人が気軽に立ち寄れる場所という意味と、「町を照らす存在になってほしい」という願いが込められています。そして、「ひの」は柔らかく温かみのあるひらがなで表しました。

▼複合施設名称審査委員会の審査結果  
慎重に審査をした結果、最優秀賞は「該当作品なし」とし、委員会において補作をしました。多数のご応募ありがとうございました。

【最優秀賞】 該当作品なし

【優秀賞】 「ひのまちテラス」

「金持ベース」

【特別賞】 「奥日野金持ステーション」

「おしどりぱたぱた」

「オシドリーム日野」

## セレモニーゾーン（さくらホール日野）がオープンします。

現在整備を行っている「さくらホール日野」が、8月1日にオープンします。オープンに先立ち、下記のとおり内覧会を行います。ぜひ、お越しください。

日程 7月30日（日）

問合せ先 さくらホール日野

（電話 0859-72-6611）

※詳しくは、別途チラシをご覧ください。

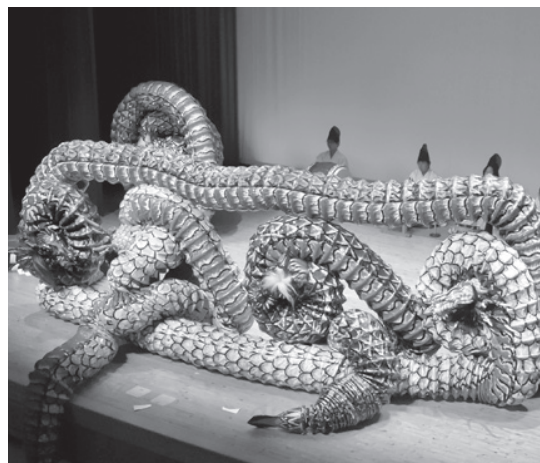


生活習慣の改善とがん検診の重要性を訴える

6月から7月のがん検診に合わせ、検診会場で「がん予防と健康何でも相談会」が開かれました。相談会には、鳥取大学医学部地域医療学講座の谷口晋一教授をはじめ同講座の講師らが登場。「がんにかからないためにはどうすればよいか」「がん予防に効果的な生活習慣は」などをアドバイス、参加者は熱心に聞き入っていました。特に、日野郡は全国に比べ、肝臓がんと女性の胃がん患者が多く、日野町ではがん検診を受ける人がまだ少ないのが現状です。今回の相談会が一人一人の意識を変えるきっかけとなったようです。

## がんにならないために

6月から7月のがん検診に合わせ、検診会場で「がん予防と健康何でも相談会」が開かれました。



6匹の大蛇がステージを所せましと大暴れ

県内の高校文化部の祭典、平成29年度鳥取県高等学校総合文化祭郷土芸能部門発表会（鳥取県高等学校文化連盟主催）が、6月21日、町文化センターで開かれ、県内4校の郷土芸能部がそれぞれの演目を披露しました。倉吉農業高校、米子白鳳高校、智頭農林高校がそれぞれ迫力ある演技で会場を沸かせる中、日野高校は荒神神楽「八重垣能」を披露。ひととき大きな拍手と歓声が起こり、来場者はその演技に見入っていました。

## 郷土芸能にかける熱い思いが爆発 鳥取県高等学校総合文化祭郷土芸能部門発表会



素早い動作でホースなどを展開（西部大会）



火点めがけ全力放水（県大会）

## 小型ポンプの部で優勝！喜びに沸く 第59回西部地区消防ポンプ操法大会

第59回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が、6月12日、県消防学校（米子市）で開かれ、町消防団第2分団がポンプ車操法の部に、第1分団が小型ポンプ操法の部に出場しました。

競技内容は、ポンプ車や小型ポンプを操作して、標的に向かって放水し、終了するまでの規律動作や時間を競うもの。多くの見物人が見守る中、日ごろの訓練の成果を披露し、審査の結果第2分団はポンプ車操法の部で第7位、第1分団は小型ポンプ操法の部で優勝という好成績を収めました。

また、出場選手の中で、最も優秀な各番員に贈られる番員賞には、小型ポンプ操法の部で奥田研二さん（野田）ら4人が受賞しました。

なお、7月2日には、第63回鳥取県消防ポンプ操法大会が開かれ、第1分団が小型ポンプ操法の部に出場。日ごろの練習の成果により、8位と健闘しました。

### ☆消防団員募集中！

「まちや地域の人々を守る」  
消防団員として活躍してみませんか？

消防団員は、町に居住している人、または勤務している人で満18歳以上であれば、男女問わず入団できます。入団を希望する人は、役場総務課（電話72・0331）までお問い合わせください。

## 楽しい人形劇に笑顔

### 人形劇団クラルテの「おひさま劇場」



人形のコミカルな動きと歌声に聴き入る

子どもたちの豊かな感性を育てたいと、町内で活動する「親子でアートを楽しむ会おひさま」（長谷川真由美会長）主催で、6月16日、大阪の人形劇団クラルテによる「おひさま劇場」が開かれました。

おひさま劇場は、朝と夜の2回公演で、朝の部はひのっこ保育所で、夜の部は町文化センターでそれぞれ開かれ、「ずんぐりイモムシの夢」など4作品が上映されました。

会場は人形劇を楽しむ多くの親子や家族であふれ、子どもたちは、歓声を上げたり、笑顔を見せたりするなど、人形の動きやしぐさに魅了されていました。

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第48回

### 「よいたんぼ」

「よいたんぼ」って何でしょう。おいしいお米がたくさんできる「良い田んぼ」？いいえ、日野弁で「よいたんぼ」とは、「酔いたんぼ」、つまり酔っ払いのことです。

かつての日野町では、飲み屋さんや立ち飲み屋（たちきゅう）などがひしめくように存在し、夜にもなれば、まちのあちこちで酔いたんぼがあちへフラフラ、こっちへヨロヨロ。絡まれるのは困りものですが、そんな活気を取り戻したいものです。

### 日野弁ピックアップ「よ」

- よおいわん…ものが言えない。「あきれてーわ」
- よおや…やっ／ようやく。「ーできた」
- よおせん…とてもできない。「そげなこたあーわあ」
- よおけ…たくさん／余分に。（類語）あばかん
- よくな…けちな。欲張りな。「お前はーなあ」
- よこし…すぐ横／横向き。（反意語）たてし
- よこや…神職、あるいはその家宅。
- よそかる…寄りかかる。（類語）よさかる。よかる
- よばれる…ごちそうになる。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会